

平成23年度第6回（第9期第10回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会議次第

平成24年3月22日（木）
午後2時～
中央公民館2階学習室4

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 答申案の審議
- 4 その他
- 5 閉会

配布資料

1. 棚井委員の資料
-

会長 事務局	<p>ただいまから第10回審議会を開催いたします。はじめに事務局報告からお願いいたします。</p> <p>1点目としてごみらいふ3月号が発行されました。今回のごみらいふは集団回収を始めませんかということで、本日出席されている土井商店さんにも協力いただき、集団回収の活動団体と回収業者へ取材を行い、記事をまとめましたのでご覧ください。</p> <p>2点目として今年度から陶磁器のリサイクルをイベントで開始しました。回収した陶磁器の中でそのまま利用できるものは販売しましたが、販売できないようなもの1,250kgをリサイクルするために、本日、岐阜県土岐市にあるリサイクル業者にリサイクルしてもらうために搬入する予定です。24年度はイベントでの回収の他に日時を決めて拠点での回収をする予定です。</p> <p>3点目として24年3月議会について報告いたします。ごみ関係の一般質問としましては3人の議員さんから質問をいただきました。まず1人目が磯山議員さんから自主財源の確保について、ごみ減量対策課で配布しているごみと資源の出し方のパンフレットの中に自主財源を得るために広告を載せる取り組みができないかという質問があり、このパンフレットは定期的に発行するものではなく、広告の掲載期間が決まっていないので現状は困難ですが、今後研究していきたいと答弁しました。2人目は橋本議員から3市共同資源化施設と焼却炉の更新について質問があり、基本的には23年1月に3市共同資源化推進本部という会議を開いていて、東大和市からの提案の提示を待っている状況で具体的な進展はないという回答をしております。3人目は村松委員さんから落ち葉と剪定枝の放射能汚染についてとその利用方法について質問があり、処分については通常通り行っていますが、落ち葉や剪定枝の使用の自粛が来ていて、今年度は落ち葉リサイクル事業を中止し、剪定枝のチップ化したものの配布を中止していますと回答しております。また、予算特別委員会では主な内容では24年度食物資源循環モデル事業の実施方法についての質問があり、24年度は市内全域で600世帯を対象に実施の予定であり、モデル事業の最終年度の検証を行います。25年度から本格実施を目指して実施予定と回答しています。予算特別委員会の総括質疑の中では政和会から3市共同資源化施設の前進に向けた取り組みについて、公明党からは東日本大震災のがれきの受け入れについて、虹とひかりの会派からはごみの排出抑制が停滞しているが食物資源推進事業の最終的な目標数値はどうなっているか質問があり、市長がそれぞれ回答して審査を終了しています。以上になります。</p>
会長 委員 事務局	<p>質問はありますか。</p> <p>がれきの受け入れについてはどのような答弁でしたか。</p> <p>がれきの受け入れについてはご存じのとおり、東京都で広域的な受け入れを行って多摩地域については発電設備を持っている7工場で受け入れる予定ですが、今後も東京都で受け入れを行いますので、小平・村山・大和衛生組合でも受け入れる可能性があり、そういった中で検討していくという答弁をしています。</p>
会長 委員	<p>配布物の確認をお願いいたします。</p> <p>**** 棚井委員の資料説明 ****</p> <p>適正処理の維持・向上について、3市共同資源化について盛り込んでいないがいいのか。</p>
委員	<p>ごみ減量を啓発するために市民にどういったPRをするか苦労されていると思いますが、ごみ処理基本計画を読みますと3Rの方法や考え方が出ていますが、ごみを減らすのにどう取り組めばいいのか市民に示唆するようなものがほとんど見当たらないので、こういう観点からごみ減量に取り組んでいただけないかと市民にPRすれ</p>

ば市民の意識が変わっていくのではないか。

生活用品交換コーナーは市民のみなさん知らないのではないか。交換コーナーはごみになる前に有効に使っていこうという目的があって個人間で完了するものであり、市の行政コストがかからない。ごみ減量に関して情報が入らないので、情報検索システムなりを作ったほうがいい。いろいろな施策の結果の検証をして、やりっぱなしでなくて再度チェックして有効に働くようにする、検証と施策の実施が必要だと思います。

*** 分科会報告要旨の文書構成について意見 ***

*** 答申の文書構成について意見 ***

委員
委員
委員
会長

さきほどの検証と施策の実施についてはどこに入れるのですか。

施策展開の方向性の中に入れるのがいいかと思います。

検証と施策の実施は入れないでいいのではないか。

答申というものは2つの分科会から出てきたものからみなさんが重要だと考えたものを載せています。みなさんで議論したことは分科会報告としています。さきほどの3市の共同資源化についてはあまり議論してこなかったと思います。

事務局

3市共同資源化事業については3市と小平・村山・大和衛生組合の4団体に協議しています。小平市の審議会で意見が出ましても現在は反映する場がない状況となります。

会長

これまで議論をしてきたのであれば答申に入れてもいいと思いますが、3市共同のところは方向性がまとまってないですし、入れなくていいかなと思います。

委員

焼却施設については答申に入れていますが、3市共同については入れなくていいということですね。

*** 答申と分科会報告要旨の文書構成のまとめ ***

会長
事務局
委員

では本日の内容を事務局で修正してもらって会長と副会長で確認します。

答申を会長、副会長に確認してもらってから委員のみなさまに郵送いたします。

さきほどの検証と施策の実施についてはこれまで議論してきたかと言えば議論してきませんでした。施策が実践でフォローアップされれば成果が上がってくるという意味で申し上げました。

委員
会長

今回は間に合いませんでしたが意見は大事なことだと思います。

答申はさきほどのおりとさせていただきます。

本日が最後の会議ですので、みなさんの感想やあいさつをいただきたいと思います。

*** 委員の感想やあいさつ ***